

令和 8 年全日本選手権大会長野県予選会 兼 令和 8 年皇后杯全日本女子柔道選手権長野県予選

実施要項

1. 主 催 長野県柔道連盟
2. 期 日 令和 8 年 2 月 1 日（日）午前 10：00 開会式（8：30 開場）
3. 会 場 松本市柔剣道場 長野県松本市中央 4-7-28 Tel 0263-36-0834
4. 出場資格
 - (1) 日本国籍を有し、全日本柔道連盟に登録している者。
 - (2) 選手は、所属する県柔道連盟を通して、前年度の全日本柔道連盟登録手続きを行っており、その県において居住、勤務、在学のいずれかの条件を満たしていること。
 - (3) 卒業、転勤等により、実体の伴う現住所の変更、勤務する会社、通学する学校の所在地に変更がある場合には、変更先の地区から出場することができる。但し、この場合、速やかに登録変更の手続きを行わなければならない。
 - (4) 地区予選への出場は、1 地区に限る。
 - (5) 選手は、背部にゼッケン(苗字、所属名)を縫い付けること。
 - (6) 皇后杯については、令和 8 年 4 月 19 日(皇后杯当日)において中学 2 年生以上の者。
5. 審判規定
 - (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び全日本柔道選手権大会申し合わせ事項にて行う。
 - ア 試合時間は 5 分間とする。
 - イ スコアは「一本」「技あり」「有効」の 3 種類とし、「技あり」2 つで合せ技「一本」とする。
抑え込みの時間は 20 秒で「一本」、15 秒以上で「技あり」、10 秒以上で「有効」とする。
 - ウ 「指導」による罰則は 4 回目が与えられた時点で「反則負け」とする。
 - エ 試合時間内に勝敗が決しない場合は、判定にて勝敗を決する。判定基準は試合態度、技の効果と巧拙、及び反則の有無等を総合的に比較する。攻撃を高く評価するため「指導」の数のみをもって判定の材料とはしない。
 - オ 立ち姿勢において、相手と組んだ状態で攻撃・防御のために、相手の帯から下を掴む(触れる)ことは反則(指導)とはしない。但し、相手と組んでいない状況で直接相手の帯から下へ攻撃を行うことは反則(指導)とする。
 - カ 寝姿勢から立姿勢に移行したときには、「待て」を宣告して試合を止める。
 - キ 試合は、試合場内で行うものとする。立姿勢においては、両足が場外に出るか相手を故意に場外に押し出した場合は反則(指導)とする。
 - ク 立姿勢において、標準的ではない組み方を継続する若しくは繰り返す場合は反則(指導)とする。但し、直ちに攻撃を行えば「指導」は与えない。
 - (2) 2022 年 1 月から国際柔道連盟が改正した柔道衣コントロールで実施する。全柔連柔道衣規格に合格

した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。柔道衣の大きさ又は規格が規定に合わない場合は出場を認めない。

- (3) 今大会は、衛生上の理由で変更しなければならない場合のリザーブ柔道衣を主催者で用意しないため、各自で2着分用意することを推奨する。

6. 試合方法 体重は無差別とし、試合はトーナメント戦またはリーグ戦によって行う。

7. 審判監督会議 令和8年2月1日(日)9:30から会議室において行う。

8. 組み合わせ 前年の同大会の順位及び今年度の試合結果をもとに長野県柔道連盟競技部において組み合わせを決定する。

9. 上位大会への出場権

男女上位3名に令和8年3月8日(日)に石川県で開催される北信越柔道選手権大会、同女子柔道選手権大会への出場権を与える。

10. 申し込み方法

長野県柔道連盟HPより所定のファイルをダウンロードし入力しメールにて申し込むこと。

- (1) 申込先 長野県柔道連盟競技部長 神農来栄

メールアドレス nagano.juren.kyougibu@gmail.com

- (2) 申込〆切 令和8年1月17日(土)までとする。

- (3) 参加料 2,000円(大会当日受付に納付すること。)

11. その他

- (1) 試合中の負傷については、応急手当のみ主催者が行い、その他一切の責任を負わない。

- (2) 選手は、全日本柔道連盟登録証、マイナンバーカードを持参すること。

- (3) 皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発病の有無を各県の責任において必ず確認すること。
感染が疑わしい、若しくは、感染が判明した選手については迅速に医療機関において適切な治療を受けること。なお、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会へ出場出来ないことがある。

- (4) 脳震盪対応について、選手及び指導者は次の事項を厳守すること。

ア 大会一ヵ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診断を受け出場の許可を得ること。

イ 大会中に脳震盪を受傷した者は、その後の当該大会への出場は認めない。

ウ 上記のいずれかに該当する選手がいる場合、指導者は必ず大会事務局に事故報告書を提出すること。

- (5) 個人情報、肖像権の取扱いについて

ア 参加申込用紙に記載された個人情報、競技結果が大会プログラム、競技会場掲示板、関連ホームページに掲載される場合がある。また、報道機関等により、新聞、雑誌、テレビに公開される場合がある。

イ ケアシステムの動画は、各種委員会講習会で使用されることがある。

ウ 参加申込書の提出により、個人情報と肖像権の取扱いに関する承諾を得たものとする。

エ 提出された個人情報については、上記の利用目的以外に使用しない。